

1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	商店街（代表者）	・SARSの影響で観光客が北海道に流れてきている。観光客は九州・四国・沖縄・中国・台湾などへはほとんど行かず、北海道に来ている。特に、道東地区は観光客の入込が昨年より多く、これからもそういう傾向で続くと思われる。
		家電量販店（店長）	・プラズマテレビ・液晶テレビ・DVDレコーダーなどのデジタル家電商品が伸びると予測される。
		観光型ホテル（経営者）	・SARSの影響がまだ残っており、海外旅行から国内旅行に振り替えた客の予約が例年に比べて多くなっている。
		観光型ホテル（スタッフ）	・暑い関東地区からの避暑を兼ねて、北海道への観光入込も、今後、増加に転じるものと期待される。
		旅行代理店（従業員）	・先々のハネムーン申し込みが増えてきており、SARSのニュースが減少してきたこともあって海外旅行の広告量が増加してきている。
		通信会社（企画担当）	・カメラ付き携帯のラインナップがいよいよ充実し、100万画素を超える高機能商品が目白押しとなる。そうなれば個人のおもちゃであったカメラ付き携帯がいよいよビジネスユースとして本格的に導入される。
		美容室（経営者）	・来店周期が短くなってきたため、若干だが売上が上昇し始めている。
	変わらない	商店街（代表者）	・先行きに不安のあるニュースが多いなど、消費に与える心理的な要素が強く、現在の状況が続くと思われる。
		商店街（代表者）	・大手百貨店が8月に閉店するため、商店街への来訪者は大きく減少することが予想されるが、9月は逆の現象が表れると予想している。今月は新しい駅舎がオープンしたが、駅と地元住民との継続的なコミュニケーションをとる仕掛けがないため、駅前商店街の今後の活性化に寄与する具体的な要素はなく、期待はずれとの声が多い。
		商店街（代表者）	・夏物セールの前倒しで、今月からセールが開始されているため、勢いのなさが予想される。
		百貨店（売場主任）	・来客数が更に減っていることと、夏のボーナスが相当ダウンしているため、今後も引き続き期待できない。
		百貨店（売場主任）	・夏のボーナスの一般的な支給から数週間がたったが、ボーナスを使つての買物が全くみられない。ボーナスを、この先の生活源にする状況であり、これからもそれほど消費が動く経済状況ではないと思われる。
		スーパー（店長）	・大手百貨店の閉鎖が8月に決定し、大量解雇の話が飛び込んでいる状況下で、消費の拡大等の期待は薄いと思う。
		スーパー（企画担当）	・運動会セールや行楽商品の売行きが今ひとつ盛り上がり欠けており、足元の消費環境から判断すると、今後の盛夏商戦での巻き返しも厳しくなる。
		コンビニ（エリア担当）	・海外旅行を控える分、道内観光が増えるかと思うが、客単価の減少は止まっていないため、全体としては変わらない。
		コンビニ（店長）	・コンビニ業界で初の試みとなる新商品に期待はするが、状況としては変わらないというより、これ以上は落ちようがないというところと思われる。
		衣料品専門店（店員）	・必要以外の物に対する買物に慎重なのは変わらないので、今と変わらない状況が続く。
		家電量販店（地区統括部）	・依然として客単価は対前年比で5～10%のダウン傾向にある。北海道の景気も低調で、消費者のマインドも冷えている。また、商品的に期待できる商品も特に見当たらない。
住関連専門店（営業担当）		・将来的に消費税率がアップするという話題やボーナスから引かれる保険料率の上昇などから、生活防衛型の行動パターンが取られ、消費行動を圧迫する。	
スナック（経営者）	・旭川では7月から、地元航空会社が3往復することになり、少しは観光客が入るかと思うが、今の状態では変わらない感じがする。		

	スナック（経営者）	・企業としても経費を締めるところは交際費であり、接待なども少なくなっている。また、団体客の利用は多いほうであるが、個人的な利用が少なくなっている。客は飲み放題など、単価のはっきりしているほうが良いようである。	
	観光型ホテル（経営者）	・予約状況は、出足はよくないものの、情報のスピードアップのせいか比較的、直前の予約が増加傾向にあり、月内の仕上がりはまずまずといった状況にある。	
	旅行代理店（従業員）	・SARS騒動は鎮静化しつつあるが、海外旅行の回復には時間を要する。2～3か月では回復しない。	
	タクシー運転手	・夜間のススキノの人出などタクシーを利用する客の増加が見込めない。	
	タクシー運転手	・ここへきて、大手フェリー会社の倒産があり、函館は青森からのフェリー客がかなり入っているの、それがどうなるかが心配で、先行きの見通しが全くつかない。	
	観光名所（役員）	・今後の観光客の入込の見通しはプラスとマイナスの要因で相殺され、横ばい程度が見込まれる。	
	住宅販売会社（従業員）	・客の様子からは、需要意識が非常に低下していることが根本的にある。その点から商品の販売量が増大するとは考えづらく、全体としては変わらない。	
やや悪くなる	スーパー（店長）	・可処分所得の低下が引き続いている状況であり、年金の減少も経済低下の重要な要因となっている。	
	衣料品専門店（店長）	・たばこ増税、医療費負担の拡大などで買い渋りが発生していきそうである。	
	その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・ポイントシステムを導入したが、それでも対前年比を上回れないと思われるくらい、客の購買力が悪い。	
	高級レストラン（スタッフ）	・数か月先の予約が減少しており、前年と比べて、かなりスロースタートとなっている。また、観光客が増えても、ホテルで夕食を取らないケースが多く、観光のあり方が様変わりしてきた。	
	旅行代理店（従業員）	・海外旅行が上向きにならないければ旅行そのもののイメージが回復しない。国内旅行も同様で消費者の動向が読みにくい。	
悪くなる	スーパー（店長）	・全体の傾向は大きくは変化してないが、競争環境の更なる激化を要因として、来客数の減少が今月に入り顕著となっている。食品部門では、先月からやや回復したが、傾向としては減少傾向にある。	
	コンビニ（エリア担当）	・地域経済が非常に厳しいなか、競合店が秋に向けてたくさん出店してくる。競争環境が更に厳しくなると考えている。	
	コンビニ（エリア担当）	・早朝の、工事現場に向かう作業員の来客数が減少している。これは予算削減によるもので、今後一年間は間違いなく継続していくと思われる。	
	旅行代理店（従業員）	・SARSの沈静化が期待できる状況だが、第一四半期の穴を埋めるために、更なる経費の節減などが求められており、良くなる要素に乏しい。	
企業動向関連	良くなる	-	
	やや良くなる	通信業（営業担当）	・通信、ITに関する顧客の姿勢が以前よりは前向きになってきている感じはある。現状からは少し上向きに転じるのではないかと感じる。
		その他企業〔コンベンション担当〕（従業員）	・新規ホテルや札幌駅の大型複合商業施設の開業、SARSの影響などで観光客、旅行代理店が道内に目を向けており、コンベンション需要が増加する可能性がある。
変わらない	食料品製造業（団体役員）	・加工原魚の不漁から原料価格が高値となり、生産価格に転化しないと採算が合わない状況になってきている。	
	建設業（経営者）	・公共事業並びに民間工事の量的な落ち込みと競争の激化で、売上、利益ともに非常に厳しい状態であり、今後も好転は期待できない。	
	金融業（企画担当）	・夏期賞与の伸びは期待できないが、株価の持ち直しで個人消費は横ばいで推移する見込みである。観光関連もSARSの沈静化で大きな落ち込みはないと思われる。	
	その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・所有設備を売却して、事業を縮小する事例を良く聞く。	

		その他非製造業 [機械卸売] (従業員)	・ 設備投資案件が極端に少なくなっており、あっても見積提出を何度もさせられ、価格ばかりどんどん安くなっている。
やや悪くなる		金属製品製造業 (統括)	・ 物件の見積り金額の総量が、前年より大幅に少なく、今後の受注額の減少が予想される。
		その他サービス業 [建設機械リース] (支店長)	・ 銀行の動向に懸念があり、取引スタンスが変わる恐れがある。
悪くなる		食料品製造業 (経営者)	・ 政府の規制緩和が一向に進まず、企業のビジネスチャンスも拡大しないため、実質的な収入は目減りしている。そうしたなか、増税に対するアナウンスがあり、市民が消費を増やそうというマインドには程遠く、その分を食費の切り詰めでカバーしようとする動きは、更に加速する。
		その他サービス業 [システムハウス] (経営者)	・ 赤字決算の会社や、倒産する会社のニュースばかりが目につくなかで、設備投資意欲が出てくるとは思えない。また、必要最小限の投資をするにしても予算は厳しく、ソフト業界では、中国へ仕事を出すことでそのリスクを回避しようという流れは、さらに激しくなっている。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	職業安定所 (職員)	・ 今夏から秋にかけて商業施設の進出が予定されており、雇用需要が見込まれる。
	変わらない	人材派遣会社 (社員)	・ 3か月後辺りには契約更新の時期を迎えるが、派遣料金の据置や引下げ等の要望が相変わらずある。
		求人情報誌製作会社 (編集者)	・ 求人情数は減り気味になっているが、業種で見ると、建築関連が一段と減り、ほかはスナック系が減っている状況であり、どちらも景気の影響というより、構造的なものと思われる。その他の業種では小売系がやや落ち着いた感がある。
		求人情報誌製作会社 (編集者)	・ 現在の所、インパクトのある雇用の創出要因が見当たらない。また、当地域では人口の伸びが鈍化していることから、地域全体としても、しばらくは雇用の拡大基調はないと思われる。
		求人情報誌製作会社 (編集者)	・ 建設業の下落に歯止めがかかっていない。飲食系も前年に比べて数%のマイナスとなっているが、それ以外の業種では大きな変化がなく、こうした状態がもう少し続きそうである。
		職業安定所 (職員)	・ 有効求人倍率は、11か月連続して前年同月を上回っているものの、前月より減少しており、全道平均より低い水準で推移している。
	やや悪くなる	職業安定所 (職員)	・ 大手百貨店が8月に閉店されることから、大量の離職者の発生が予想される。
悪くなる			